

上下水道一体部門

応募事例名

上下水道が連携した震災時の応急活動マニュアルの整備

応募団体名)横須賀市上下水道局

応募事例の概要

能登半島地震の応援活動をきっかけに、本市上下水道の震災対策を見直し、上下水道一体的に応急給水・応急復旧を速やかに実施していくためのマニュアルを整備しました。

応募事例の内容

応援活動の経験をマニュアル化したい

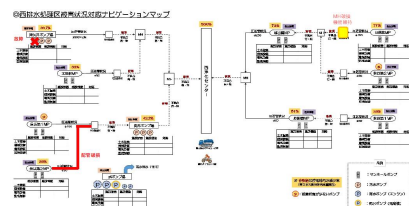
上下一体の活動マニュアルの整備

- ・非常用貯水槽の開設を上下職員で実施
- ・被害状況の速報を災害二輪調査隊が調査
- ・被害状況ナビゲーションマップを整備
- ・重要施設を上下共通で設定
- ・重要施設への水道の復旧に合わせて下水も復旧
- ・復旧作業方法を具体的に整備

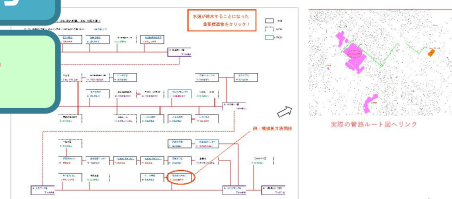
上下で協力

今回整備

ナビゲーションマップ(施設)



ナビゲーションマップ(管渠)



さらに

重要施設の管理者に敷地内耐震化の啓発

上下水道一気通貫の復旧を目指す

A配水池 (25施設)	B配水池 (20施設)	C配水池 (15施設)	D配水池 (7施設)
A病院 (災害拠点病院) B病院 (応急二次病院) C病院 (応急二次病院) D病院 (応急二次病院) E病院 (応急二次病院) F病院 (応急二次病院) G病院 (応急二次病院)	C病院 (応急二次病院) Gタリニック (造形病院) Hタリニック (造形病院) Iタリニック (造形病院) Jタリニック (造形病院)	B病院 (災害拠点+造形) Kタリニック (造形病院) Lタリニック (造形病院) Mタリニック (造形病院) Nタリニック (造形病院) Oタリニック (造形病院)	D病院 (応急二次病院) Pタリニック (造形病院) Qタリニック (造形病院) Rタリニック (造形病院) Sタリニック (造形病院) Tタリニック (造形病院)

重要施設と配水ルート

PRポイント

従来より震災対策計画を策定し、震災時の応急給排水や応急復旧の体制、個々の作業マニュアル等は整備していましたが、復旧作業の大きな流れなどはベテラン頼みで、総括的な作業マニュアルは十分に整備されていませんでした。

能登半島地震の応援活動で実際の応急復旧・応急給水活動を経験したことにより、応急活動に必要な事項をマニュアルとして整備し、職員全体で共有することができるようになりました。

取組みに関するエピソード

- ・個々のチームごとにマニュアルの整備を開始していたところ、重要施設の上下共通化が行われたため、これを軸とすることで方向性が決定しました。
- ・マニュアルを整備するために、参加者の防災に対する意識と業務に対する知識レベルの向上となりました。



技術部計画課
危機管理担当主査 渋谷